

JAITI 9

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

JAITIとは、「財団法人日本農業研修協会の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの漢字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、アジア・アフリカ諸国の農村地域社会の人々が、「生きる糧」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりをもち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発行 (財)日本農業研修協会の田
住所 座386-05 長野県小県郡武石村伊456
TEL:0268-85-3465 FAX:0268-85-3583

「カカニ」で 夢一歩ずつ

カカニ農場で元気に働いているボランティアの女性二人をご紹介します。

牧野かおりさんは青年海外協力隊員としての二年間を含め、ネパールでの農業経験があります。

開くところによると、ネパールの体験から「自分が持っている程度の農業知識、技術力ではとても役に立たないことがよく分かった」という、大変率直かつ貴重な感想を述べています。

将来永住の夢を抱いて、今年三月から一年間以上カカニ滞在の予定です。

白井光さんは現役の農学部学生。大学での一ヶ月程度の農業実習では満足できず、農業の一年の流れを体験したいとの思いから、ま

験したいとの思いから、また、ネパールへの興味もあり、一年間休学し、農業体験へ挑戦です。将来農業学校の先生になる夢を持っています。

ジャイチでは、ボランティア希望者を受入れるに当たり、次の条件の了解を得て参加を歓迎しています。

- ① 査証は自分で取得し、現地の指定地へ一人で行く。
- ② 住居は問合し又は借家。寝食必要。便所は野外。風呂はなし。シャワーはあっても屋外で水のみ。
- ③ 停電が多く懐中電灯必携。
- ④ 食事は自然又は現地食。
- ⑤ 野外作業に備え、靴、手袋、帽子、作業衣準備。
- ⑥ 以上の条件の中でまず一週間暮らしみて、作業に参加可能と判断できれば農場へ出る。

⑦ 農場での作業はネパール人と共同。いつも日本人が一緒にいて作業指示があるとは限らない。

⑧ ジャイチから



▶ 農作物第一号のいちごの収穫

の経済支援は一切なし。事故等の責任は自分で負う。必ず海外旅行傷害保険に加入する。

大変厳しいようですが、開発途上国では日々の自分の生活ができれば他人への協力は不可能です。このような条件を了解し、自己目標達成を目指して行動

している彼女は、きつとお金では買えない大きな満足感を得ることでしよう。

お二人の夢と行動力に声援を送りましょう。

なお、3面に井田すみささんによる、二人の送迎報告を掲載しています。合わせてご覧下さい。(大高木)



▶ 給食風景 栄養改善と衛生観念の補え付けに大変役立つ。

「三学年の学校になりました」

シンパンジャンの学校は、当初の計画通り、毎年一年、一クラス、三〇人づつ増えて、現在、一年生から三年生の各一クラス、合計九〇名となりました。

今年に留年した生徒は無く、全員がそれぞれ二年生、三年生に進級して、一年生は全て新入生になり、四人

の先生の下で、別掲の時間割表で、学校生活を送っています。

ネパール教育省の内規で、私立の新設校は、十年制学校を運営すると申請して、その通りの許可を受けていても、一学年増える毎に、つまり毎年、新学年増設の許可を受ける型になってい

て、今年も第四学年の増設申請を実施します。

一定審査はある由ですが、当校に関しては、全てのことに問題がありません。

ネパールへお出掛けになる方で、文房具類を、手荷物として運ぶことが可能という方を、ご紹介下さい。ジャイチから、ご自宅へ運んで欲しい荷物を届けますので、その荷物を、カトマンズの指定場所へ、持参して届けてください。勿論前記しました文房具類を、ご自身でまとめて下さりそれを直接カトマンズへ運んで下さることは、大歓迎です。ご協力下さい。

もっと詳しいことは、ジャイチの事務局へ、お問い合わせ下さい。(菊池)

その送料分の現金を届けて、ネパールで文房具を買った方が、経済上は有利になります。

そこでお願ひがあります。ネパールへお出掛けになる方で、文房具類を、手荷物として運ぶことが可能という方を、ご紹介下さい。ジャイチから、ご自宅へ運んで欲しい荷物を届けますので、その荷物を、カトマンズの指定場所へ、持参して届けてください。勿論前記しました文房具類を、ご自身でまとめて下さりそれを直接カトマンズへ運んで下さることは、大歓迎です。ご協力下さい。

この文房具類をネパールへ送ることは、今後も続けようと考えていますが、生徒が増えるに連れて、量的にも増えて、運ぶ手段に機が始められています。

郵便小袋で送る方法は、勿論ありますが、送料が高くなります。もし、送料を掛けて運ぶなら、

その国の人々に役立つことが、山程あります。

と同時に、こんな行為が、私達の取組めるボランティア活動の、原点のように思っています。

TIME TABLE

1995, Feb. 1

MONDAY TO FRIDAY DAILY CLASS PROGRAMME

	1	2	3	LUNCH	4	5
CLASS	10-10:50	10:50-11:50	11:50-12:10	12:10-1:10	1:10-2:10	2:10-3:10
ONE	Math	Science	English		English	Math
TWO	Math	Science	English		English	Math
THREE	Math	Science	English		English	Math

◀ 時間割表

今日のジャイチ

◆第三期の報告

一九九四年四月一日より、一九九五年三月三十一日迄に、別表の収支報告の資金を使い、以下を実施致しました。

・カカニ農場とシンパンジヤン学校の、維持運営を、当初計画通り、現地事務局を通して実施。

・前号(第八号)でもお知らせしましたが、ネパールの事務局を、合理化の一環として、カカニ農場内に移転しました。これに伴い、郵便物は、カトマンズ郵便局内の私書箱宛となります。カカニの住所宛では届きませんから、ご注意ください。念の為、郵便物の宛名を記しておきます。

P. O. BOX 1174
Kathmandu, NEPAL

・昨年日本より運んだ、海上コンテナを、倉庫として利用するに当り、環境観点と長期使用を考慮して、周辺状況に合う屋根掛けした建物の中に、開け込み。
・公的機関よりの資金使途は、郵政省国際ボランティア貯金に係る寄附金を、事務局運営と学校の建設及び、

運営に、環境事業団地球環境基金助成金を、カカニ地区の森林回復のための、植林活動の基盤整備研究事業と前記コンテナ小屋建設に、社団法人国際農林業協力協会(AICAF)専門家派遣支援事業費で、カカニ農場へ、松浦浩氏を六ヶ月間派遣。

・松浦氏は、通年態勢で、カカニ農場に滞在しており、前記派遣期間中は、ボランティアとして、現地指導に当たってもらっています。
・十一月、農場と学校訪問の実施。参加者十八名。
・六月から九月、当団評議員の井出守雄氏宅に、ネパール人研修生一名受入。
・その他、機関誌発行、情報提供、活動費獲得のためのバザー、募金を、多勢の方々の奉仕参加で実施しました。誌面を借りて、改めて感謝申し上げます。

◆第四期の予定

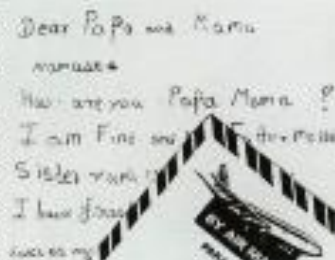
一九九五年四月より、九年三月迄の事業を、以下のように計画しています。

・現地の状況、公的機関よりの資金の決定額、寄附金の増減、社会情勢の変化に

柔軟に対応して、継続の維持を主眼に行動します。
・ご支援の継続と、支援者拡大に、ご協力下さい。
・本年度も、AICAFより、専門家派遣支援事業費を六ヶ月間分、支援するとの内定を受けました。引続き、松浦氏に、カカニ農場を指導して貰います。
・シンパンジヤン学校は、教室棟、教員官舎棟、給食用厨房棟を建設。四期生三十名を、九六年二月より受入。生徒数合計百二十名。
・カカニの森林回復のための研究林地内に、調査員の宿泊棟を建設。追跡調査作業に、ボランティア二回参加を要請。
・十一月の農場と学校訪問の旅を、関西空港よりの直行便を利用。
・カカニ農場の、ネパールでの農業指導者育成事業の研修生の中に、日本人研修生二名を加える。

・日本国内で、日本人対象に、農業に関心を示す人を実習生として、積極的に農家へ送り出す施策の検討。
・その他従前通り、資金作りのためのバザー、募金活動、支援者の確保、機関誌の年二回の発行、ネパール

情報提供等を、事務局を中心に活動します。
特に、常時ボランティアとして、大高木勝則氏が加わったので、皆様のところへ、何う機会を増やせようです。
(常務理事
菊池健介)

里親だより
—ツェリンに
出会う—

Dear Papa and Mama
How are you
I am fine and
Sister and I love you
Love
Tsering

「ディア ババアンドママ……」、引きちぎられたザラ紙のノートに、消しては書いた鉛筆書きの英文、ネパールの息子ツェリンからの手紙です。

将来パイロットになりたいこと、四年生に進級したこと、友達とクリケットで遊んでいることなど、もう

(財)日本農業研修場協力団収支報告
1994年4月～1995年3月(単位千円)

1. 収入の部	
①基本財産運用収入	1,285
②支援者寄附金	5,037
③公的機関よりの寄附金・助成金・支援費	16,371
④財団設立者寄附金	4,049
⑤その他の収入	13
⑥前期よりの繰越金	679
合計	27,434
2. 支出の部	
①国内事業費	1,250
②国外事業費	19,653
③国内事務局運営費	5,026
合計	25,929
3. 次期への繰越金	
	1,505
4. 収支報告に関する留意事項	

1. 収入の部の②支援者寄附金は448件あった内、維持費と仕途指定事業費の金額を計上。この外に、「ジャイチ基金」への指定寄附金及び、無指定寄附金の50%を、直接、基本財産基金口座へ合計3,370千円を、繰入れてあります。
2. 収入の部の③公的機関は、郵政省国際ボランティア貯金に係る寄附金・環境事業団地球環境基金助成金・社団法人国際農林業協力協会(AICAF)専門家派遣支援事業費の3件合計額を計上してあります。

三通も手紙をくれました。熱年のババアンドママは目尻を下げ、鼻の下を長くして見入ります。嬉しいよいうな照れくさいような、なんとなくすぐったい気持ちで。

私は四年前に、わずかな期間でしたが、ネパールでトレッキングを体験しました。その時ガイドをしてくれたのが、ツェリンの父親ギヤルゼンです。礼儀正しく、誠実な仕事ぶりでした。村から村へと歩きながら人々と接し、私は最近味わったことのない安らぎと懐かしさを感じました。心が浄化されていくようでした。

婚姻してしばらくは静々として楽しめない日が続きました。ネパールの人々の貧しい暮らしと重労働、暗く小さな灯、働く子供、彼らの人なつこい笑顔などが脳裡に焼き付いて、現在ある自分とのギャップが埋め

られないのです。

消費生活の中にどっぶり漬かりながら、なぜか心満たされぬ寂しさ、貧しくても心豊かに生きているらしいネパールの人々……、本當の豊かさとは何だろう、この国の人たちのために私に何が出来るだろうか、と考えました。

去年、ジャイチのニューズレターに、四人の子供の顔写真と、里親がしの記事が掲載されました。その中に、神秘的な顔をしてまっすぐこちらを向いているツェリンがいました。見開いた目が澄んでいます。私にもできることが見つ



いまわが家では、ツェリンに会いにネパールへ行くことが夢です。夫も「いつ行こうか」と、その日を楽しみにしているようです。ツェリンがすっかり生きてゆけることを希っている私たちです。(矢嶋芳子)

今、カカニ農場では

八号に続き、昨年の十一月より今年の五月末までの経過等を中心に報告致しますが、農業に関する内容です。年二回のため一号おきに同じような内容となっておりますのでご了承ください。

まず天候ですが、この農業にとって大切な降雨量は計測を始めてから、二年半程度ですが、今年は五月上旬も少なく、中旬に多く降ったので、これで雨が降り始めるかと思つて、いろいろ準備を始めましたが、下旬には晴天が続いて再度の灌水に追われてしまいました。月末にやっとなりまして、予定がすっきり狂ってしまい仕事の方もだいぶ遅れてしまいました。田圃も五月下旬に行なう予定でしたが、水を確保できず水稲作は中止して、キャベツに変更してしまいました。乾季を利用した畑の合筆や堆肥・モミガウ等のすき

カカニ農場の各別降雨量の比較 (単位mm)

月	旬	1993	1994	1995
1	上	8.1	0.0	8.5
	中	0.6	30.2	0.5
	下	0.0	0.0	0.0
2	上	18.0	24.9	7.8
	中	19.9	0.0	14.0
	下	0.0	11.4	15.5
3	上	3.9	0.0	0.5
	中	4.5	4.2	0.0
	下	30.0	19.2	42.3
4	上	13.6	5.5	0.0
	中	39.5	4.1	12.9
	下	96.5	3.5	1.5
5	上	79.8	52.0	0.3
	中	85.0	20.7	206.2
	下	157.3	223.3	8.3
6	上	109.3	66.6	
	中	80.9	288.6	
	下	134.7	329.9	

高の灌水作業



込みは予定どおり終わり、三月から着手した村岸の小山を切り崩して、溜池施設建設用地の整備は、すべてが人力頼りのためと、土留用石垣に使用する石の頼り出しが、予定どおり進まなかった事と農場の作業と重なった事と時間がかかり現在も続けております。

次に農作物ですが、毒は収量のピークが一月中旬と四月中旬でした。四月の後半は気温も高く日持ちが悪く、需要量も少ないため販売しきれず、ジャムもだいたい

より標高を低く、日当たりが良いこともあり、早くから良い毒が収穫でき、販売額も農場で支給している手当の八ヶ月程になり、本人も喜んでおりましたし、スタッフや他の研修生、また一部の農家も興味を示しており、母株の要求も多く今年の作付面積は数倍になる事と思

ふ作りました。味は良いのですが、収量が少ないためもう一年間だけ試験して、今後どうするかも判断したいと思つていま

現在、子苗の育成期に入っています。上旬は乾燥続きのため手を付ける事ができず、中旬の降雨時に少しポットに受けましたが、下旬には再度の灌水に追われてしまい、この仕事もだいぶ遅れてしまっています。小麦は五月上旬に収穫しました。エン麦とライ麦は

了しましたが、畑の土壌が良くないせいか、小さくもつと肥沃地で栽培しないと無理のようです。二品種は五月下旬より収穫を始めており、六月上旬には終了するのではないかと思っています。

試験的に栽培しているカキリフラワーとプロッコリーは、今後の降雨でどうなるかを見守っているところで

耕することなく堆肥等の有機物を多目に施用して、土壌の肥沃化を図る事が必要となりませんが、スタッフのサラリーマン化の進行を防ぐためにも、農場運営を数年間任せて様子を見ること

農場訪問記

「部屋は一ヶ月五百ルーピーだけど、あんな学生の身で大丈夫かい」と大井さんがと大井さんが

草取りをしながらから流らうなネパール語で世間話に

日本ではハウスで加温、蜜蜂等も導入して栽培している「女神」を、資材の乏しいネパールで露地栽培に近い方法ですので、仲々思うようにはいきません。また、九州、関西地方で栽培されている「とよのか」は、

白井さんのことを心配してくれただけで、日本内にして千円、カカニの人にとっては多額のお金なのだろうが、その話をきいて笑いな

将米への夢や展望を持って無気力の日々を過ごしたり、あるいはブランド物で身を飾ることにのみ情熱を燃やす女性達とは全く無縁のお二人が、これからお元気で各々の道を着実に歩んでいかれるよう声援を送りたい。

▲牧野さん(左)と白井さん



(井田すみ)

信信一成、キミ子ご夫妻は四十五年間住み慣れた東京を離れ、ジャイチ事務局のある長野県武石村への水住を決断し、一年半前の九月、十二日、実行に移されました。

田舎暮らしのすすめ

―武石村移住記―

五年程前から関東一円のめばしい場所にはほほ下見するなど土地を探していたが、気に入る所が見つからず困っていた時、ジャイチを訪ねたのが縁で武石村を知り、惚れ込んで決断した、とのこと。

東京での花一本育てる余

定年退職を機に実現されたので。

「自宅へお伺いしました。倉信さん宅は東西十五知の武石村のほぼ中央、ジャイチ事務局から美ヶ原方面

費用 二十八万円。マウ

辛パールの農場と学校

訪問の旅 参加者募集

ジャイチの農場と学校

と学校を直にあなたの目で、

見てみませんか。きつと新

しい世界を発見できるでし

よう。この旅を通じて、ホ

パールの人々の暮らし、風習

などに触れ、その違いを尊

重しながら、新たな人と人

との交りが始められたら幸

に思っています。

お問合せの方、ジャイチ

事務局までご連絡下さい。

・日程 十一月十二日(日)

十一月十九日(日) 七泊八日

・旅費 関西空港よりカト

マンスへ同日着がカト

ナトワン国立公園・シンバ

ンジャン学校・カカニ農場

・カトマンスと移動して、

十九日お昼に、関西空港着

地のない狭い土地、コンク

リートのある、汚れた空気、

騒音、このような生活に耐

えられず、せめて老後は自

然の中で花や野菜作りをし

たいという夢を持ち続け、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

へ車で十分分、標高八百五

十の山間地。東側が谷状

に開けているのと、小高い

場所での南面の山もさほど高

くないため山間部の圧迫感

はなく、室内出窓からの眺

めは山々と樹々を借景とし

た素晴らしい風情です。

家の周囲の広々とした庭

には樹木のほか、奥様が丹

精込めた芍薬、牡丹、百合

アイリスなど十種類以上の

草花が育っています。

百五程車道には畑を借り

てトウモロコシ、大根、大

豆、枝豆、ジャガイモ、ト

マトなど多種類の野菜作り

に挑戦中。四百坪ほどの広

い畑もきれいに手入れされ

近所の農家の人も褒める出

来栄えとか。室

内から畑全体が

見渡せ、黒い土

に野菜が緑の線

を描いています。

冬は零下十五

度位まで気温が

下がり、身体が

慣れるまで戸窓

を二回の冬

を経験してもう

すっかり慣れた

ご様子。

春から秋まで

は、

は、

は、

は、

は農作業をし、十二月〜三

月は車で十分ほどの村営ス

キー場でスキー三昧。奥様

は武石へ来てからスキーを

始められました。

農家の人にネギの植え方

を指導されて全部植え直す

という失敗談もあったよう

です。予想外に困ったこと

は何ですか、の問いに、し

ばらく考えて、「十分分で買

物にも行けるし、夫婦どち

らも運転ができれば特に困

っていることは無いなあ。

とおっしゃる様子は、武石

村の暮らしが肌に馴染んで

いるという印象を受けまし

た。

都会の人々が土地、空気

水の豊かな農村地域へ移る

ことができれば、都会の過

密の悩みと人不足の農村の

悩みの両方解決できるのだ

は、と倉信ご夫妻を見てい

て感じました。(大高木)

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、

は、



ご寄附のお願い

ジャイチの活動を気持ちよく進めて下さり、感謝申し上げます。運営されている財源その他について説明とお願いを致します。ご協力をお願い申し上げます。

1. ジャイチ基金……財団法人ジャイチの基本財源の確保
基金を信託銀行で運用し、その果実(運用費)でジャイチ活動の基本部分を確保することを目的としています。宿根草、多年草、果樹のようなものです。
・基金が大きくなればなるほどジャイチの財源が豊かになります。
・基金へ寄付して頂いたお金は何十年何百年あともジャイチと共に豊穡の魂が強まります。
2. ジャイチ維持費……ジャイチの運営維持費
基金から生み出される財源では只今のところ活動に不足を来します。そこで今必要な活動に使わせて頂く目的のものです。一年草のような春播きで秋に収穫して終わります。・当分の間、この維持費はジャイチの活動に欠かせない費用です。
3. ジャイチ事業費
新たに大きい費用のかかる事業を計画した時にその応援費用として確保することを目的としています。
・通常の予備(ジャイチ基金の果実、ジャイチ維持費で組まれる)では賅えない時に臨時に集める目的の寄附金です。
・必要な時に皆様にお知らせをさせていただきます。

ジャイチでは上の3つのような形で寄附をお願いしております。何にご寄附下さったのか、お数え頂きますと幸いです。もしも等に指定のない場合は基金と維持費に半分ずつ使わせて頂きますのでご了承下さい。

郵便振替 00510-4-65434
銀行振込 八十二銀行九子支店(普) 420577
口座名 財団法人日本農業研修協会の
住 所 〒386-06 長野県小県郡武石村456
電 話 0268-95-3465 FAX 0268-95-3583

尚、金額に関しては規定がございませんので、お独りお独りご自分でお決め下さいませようお願いします。(例えば、収入の1%を、小遣の1%を、約な考えは如何がでしょうか。)

大高木氏 事務局次長に着任

とすることに對して、思っていた以上に多くの人々の賛同を得ました。

JAITI 阪神大震災の報道にもボランティアという言葉が市民権を得たことを感じ、日本人、日本の社会がようやくゆとりを持つ段階まで来たのだと思っています。初めて信州の春に触れ、数日の内に山々を抜いていく早稲穂の鮮やかな感動的でした。都会とは違って空気が水がとて清涼なことも、他に替えがたい楽しさです。

これから、皆様のご協力を心の支えとして、ボランティアの厳しさと喜びを少しずつ学んでいこうと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

編集後記

容易に解決できない事象が山積みの中です。夢のある社会とは程遠い気がします。

ジャイチは、人間が生きてゆく上で必要不可欠な、農業と教育に関するボランティア団体です。現在の日本ではめずらしい「夢」のある集団だと思ひます。

あなたも、小さな夢をもつてみませんか。

ある種宗教団体の勧誘ではありませんが、

本号の郵送料は尚悠遊、上倉徹夫氏が負担してくださることにいたしました。